

令和5年度 一般社団法人家財整理相談窓口 第3回理事会 議事録

日時 令和6年2月15日(木) 17:00～18:30

場所 Web会議 一般社団法人家財整理相談窓口 事務局会議室

〔1〕 代表理事挨拶

林代表理事、体調不良のため不参加。事務局より開会宣言

〔2〕 理事会成立の確認(事務局) 理事13名(成立出席数7名)

出席者：藤田専務、木下、江連、岩橋、大邑、延原、江川、澤田、瀬川、鷹田各理事、中辻監事
欠席者：林代表、桜井理事、神野理事 出席多数で理事会成立

事務局から月川、吉本、堤、大和田が出席。オブザーバーとして高月、種田が出席
瀬川理事より、理事になって初めての理事会であり自己紹介があった。

〔3〕 議事録作成者選出：事務局で作成

〔4〕 報告事項

1. 事務局より、令和5年11月度、12月度の収支報告があった。
2. 令和5年度11～12月度の紹介案件受註・成約状況について報告された。
3. 以下の行事について報告があった。
 - ① 令和5年度賀詞交歓会記念講演会
1月22日、賀詞交換会記念講演会の振り返りが報告された。
 - ② 令和5年度定時社員総会
1月22日、定時社員総会の振り返りが報告された。
 - ③ 第5回孤独死対策サミット(日本少額短期保険協会)
1月26日、日本少額短期保険協会主催の第5回孤独死対策サミットに大邑理事が講演した。
 - ④ 全日本不動産協会 神奈川県 みんなのための住まいセミナー
1月28日、全日本不動産協会主催の「神奈川県 みんなのための住まいセミナー」事務局岡村氏が講演した。
4. 業務提携関連について報告があった。
 - ① 豚熱防疫業務等委託事業に係る保険設計および災害補償について報告があった。
2023年12月28日付で災害補償規定制定。同日付で作業員80歳以上を補償対象とした保険に加入した。
 - ② 業務提携交渉進捗状況について報告があった。
 - WELBOXについては1月中旬より、WELBOXのサービスサイトに家財整理相談窓口の家財整理サービスについて掲載済(利用者10%割引。WELBOXへの手数料支払不要)
 - 桜井理事の紹介による大和ライフネクスト社と提携交渉中。同社のメイン業務は分譲マンションの管理であり、家財整理サービスの紹介が期待できる。同社との業務提携について承認を得た。
 - 富士通ホーム&オフィスサービス(富士通子会社)は、2年半前から提携を交渉。富士通グループ約77,000人に対する不動産サービスを展開しており、家財整理サービスの紹介が期待できる。同社との業務提携について承認を得た。
 - リムライフは先方から家族信託に係る提携の申し出があった。創業70年以上の歴史があり、生損保との連携業務が中心で信用力ある。同社との業務提携について承認を得た。
 - ファミトラ(家族信託事業展開)との提携について、今後、模作していきたい。
 - (一社)相続診断協会との提携は難しい。(協会が収益を得る提携は一切、行っていない。) 今後、同協会との関わり方を検討していきたい。
5. 退会会員報告および令和5年度年会費入金状況について報告があった。
 - ① 2023年12月21日～2024年2月15日まで退会会員なし
 - ② 2024年2月15日現在 未入金会員なし

6. 委員会活動報告

① 家財整理委員会

岩橋委員長より報告があり、2月14日、4名の参加（事務局を除く）で家財整理委員会を開催した。（議事録別紙）

岩橋理事よりその他の報告があり、全清連としては、ゴミの認識が変わってきており、単にゴミとして処分するのではなく、リユースリサイクルを最優先とした考えになってきている。今後、家財整理相談窓口との関わりは深くなるものと考えている。

(株)フォーバル九州支社と接点ができ、今後、事務局にて本社（青山）対応を依頼する考え。

② リユース委員会

本日の開催予定であったが、延期した。今後、リユースプラットフォームの活用等、共有していきたい。

7. その他

① 牧原秀樹衆議院議員からの文書

牧原秀樹衆議院議員から居住支援法人としての家財整理相談窓口に対して住宅確保困難者に係る法改正が見込まれ事に意見の要請文書が届いた報告がされた。

法改正（6月23日成立。令和7年施工見込）により、地域毎に居住支援協議会を設置せざるを得なくなり、残地物処理にも焦点があたっていることもあり、家財整理相談窓口にとってチャンスであり、追い風になる。

〔5〕 審議事項

1. 正・準会員入会審査

① 正会員：大坪 GSI 株式会社（福岡県柳川市）

岩橋理事の紹介。会社としても問題はない。リユースの部分は友心がフォローしていく。全員一致で承認され、本日付で正会員となる。

② 正会員：株式会社 M.A（神奈川県川崎市）

鷹田理事が面談。問題は無い。同社はエコアースにいた従業員の方にリユースを依頼している。全員一致で承認され、本日付で正会員となる。

③ 準会員：大喜工業株式会社（大阪府摂津市）

岩橋理事より、同社は元々水回りのビジネスをやっており、遺品整理を新たにやっていきたいとの事である。会社としては問題ない。全員一致で承認され、本日付で準会員となる。

〔6〕 協議事項

1. 令和5年度のセミナーについて

事業計画では6月に事業者セミナーを計画している。次回の理事会までに意見をお願いしたい。

2. 居住支援対象者の絞り込みについて

これまで居住支援の対象者を全てとしていたが、当法人の得意分野や連携先では幅広い対象者の期待に沿うことが難しいため、対象者の幅を絞り込みたい。理事の方に実情を理解いただき、承認された。

〔7〕 次回以降理事会 開催日時の確認

3月15日17時～ 主として6月に開催予定の事業者セミナーについて論議したい。

18時30分、全ての議事について審議、協議し閉会した。

令和6年2月15日

議事録署名人

代表理事

林 武広

監 事

中辻 慎一



令和5年度 家財整理委員会 第2回 議事録

日時 令和6年2月14日 (水) 10:00～12:00

場所 Web 会議 一般社団法人家財整理相談窓口 事務局会議室

〔1〕 委員長挨拶

岩橋委員長より開会挨拶。

家財整理委員会の役員は、私が委員長を務め、木下副委員長、前川副委員長の3名とし、第1回は、この3名で家財整理委員会の方針、運営方法について論議した。

本日、2回目の家財整理委員会を開催したい。

委員会の目的は、会員の拡大と各委員の発展であるが、理事会で論議している情報の提供や各委員間の情報交換の場としたいと持っている。堅苦しい会にはしたくないので、ザックバランに意見交換をしたいので宜しくお願いしたい。

本日の参加者は事務局を除いて、4名（会員数。他にかんどうサービスより2名参加）

(株)友心：岩橋委員長、(株)プロアシスト：木下副委員長、(株)翔陽：前川副委員長、(株)ラストィック：延原委員、(株)かんどうサービス：貫洞委員

事務局：吉本、堤、大和田

〔2〕 議事録作成者選出

事務局にて作成

〔3〕 報告事項

1. 福岡県空き家活用サポートセンターとの連携について

(資料：<https://www.fkjc.or.jp/jigyoiiekatsu-2>)

- 岩橋委員長より説明
- 「福岡県空き家活用サポートセンター」では空き家の利活用に関する相談を受けており、家財整理相談窓口は業界で唯一、同団体と連携している。
- 空き家問題は地域に限らず社会課題となっていることから、他地域に於いても同様の取組があるとされるので、同様に地域団体との連携を推進して欲しい。

2. 福岡県における居住支援活動報告

(資料：<https://youtu.be/tUM78n2rPmk?si=6Se82nd8NQTYrZaL>)

- 岩橋委員長より説明
- 福岡県の居住支援サービスの説明。家財整理相談窓口は全国11の都道府県で居住支援法人の認定を受けている。岩橋委員長は福岡市居住支援連絡協議会および北九州市居住支援連絡協議会の副会長をしており、居住支援法人協議会に参画することで家財整理相談窓口のアピールおよび会員へ仕事が行くような取組をしている。
- 皆さんの地域に於いても同様の取組をして欲しい。

3. 3月5日に開催される「北九州市における「住まい支援システム」を考える研修会」について、岩橋委員長から説明があった。

〔4〕 意見交換

1. 延原委員：岡山県は動きがあまり見えないが、岡山市にアプローチしたい。

2. 貫洞委員：居住支援法人の取組について、細かい話を聞きたい。三島地区の法人が最近、動いているようなので気になっていた。あまり揉めたくないと考えている。伊東市周辺がビジネス基盤であることから伊東市に話を聞きに行きたい。

事務局の吉本より、静岡県での居住支援の取組状況について、ホームネットに確認し報告することとした。

〔5〕 参加者自己紹介

1. (株)翔陽 前川副委員長：他の会員様と違い、中古品売買からスタートした会社。家財整理は北海道から九州まで対応が可能。家財整理業を営む際は、岩橋委員長に大変お世話になった。銀行や税理士からの紹介案件が多い。岩橋委員長より、翔陽さんは骨董品の査定ノウハウがあるので、骨董品の査定案件が発生した際に確認されたら良いとの意見があった。
2. (株)ラスティック 延原委員：岡山県に本社を置く会社で、昨年、8月より家財整理相談窓口の会員となった。宜しく願いしたい。
3. (株)かんどうサービス 貫洞委員：静岡県伊東市に本社を置き、伊豆半島全域でビジネスを展開している。
4. (株)プロアシスト 木下副委員長：大阪府茨木市に本社を置き、家財整理相談窓口の理事をしている。家財整理委員会は、情報交換や意見交換の場であり、会員の皆様が発展するために各委員の成功事例等、自身の中で止めることなく話をして欲しい。
5. 事務局 堤、吉本、大和田の自己紹介

〔6〕 次回以降委員会 開催日時の確認

第3回家財整理委員会 2024年5月15日10時～

10時45分、家財整理委員会は閉会した。